

株式会社 コバヤシ

インタビュー対象者：小林 初江（代表取締役会長）

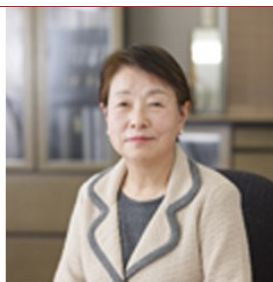
仙田 由紀子（社長室）

<会社概要>

- ・業種 インテリア・内装・建築資材卸売・小売り・施工斡旋
- ・設立 1961年（株式会社玉屋小林商店）
- ・資本金 3,000万円
- ・社員 60名（うち正社員53名） 男女半々
- ・所在地 本店 東京都品川区
支店 神奈川県横浜市、神奈川県藤沢市
- ・HP アドレス <http://kbys.co.jp/company/outline>



会長の「あ・うん」



<事業内容と実際の業務>

●創業 70 年の老舗

コバヤシは創業 70 年となる。ふすまの骨を製造する職人だった先代が、昭和 20 年代初めに個人商店を開いたところから始まる。職人は一人分しか働けないが、ふすまを完成させるのに必要な様々な材料（取っ手、ふすま紙など）の卸をすれば収入が拡大するということで商人に転じたという。

●女子学生に人気

女子学生の応募は多いが、体力面で女性は厳しいため、現在女性の営業職はいない。営業は男性 25 人程度。女性は営業事務。女性の窓装飾プランナーもいる。会社説明会に来るのは女性が多く、男性は約 2 割。4 月に新卒を 8 人採用した。うち女性は 6 人。

●中途採用あり、正社員への道もあり。

男女ともに中途採用もしている。試用期間を経て正社員になることが可能。

●地域によって異なる希望の働き方

神奈川店は近隣の主婦パートが多く、藤沢店は車通勤 OK なのでパートの応募が多いが、本店はフルタイムで働きたい人が多いのかパートの応募がない。

●希望に合わせた働き方が可能

（勤務時間など）こちらが柔軟にしてあげられれば、優秀な人が働ける。そのような対応は可能だし、過去にもやってきた。

●経営者の思い

今いる人達の人生に責任をもってあげられるかどうか、そういう思いで経営をしていかないと。精神的にも金銭的にもバックアップして。責任を背負うというのはこういうことなのだろうと考えている。

<仕事の工夫>

●残業を減らす、サービス残業をなくす

この業界は残業、しかもサービス残業が多い。しかし、それはよくないので、女性には 6 時以降残業代を付けている。営業も 40 時間を限度に営業手当を付けている。仕事内容と残業予定時間の申請を上司が承認したものについて、10 時間を限度に残業代を支払っている。

<人材育成の取り組み>

●「お子さまをお預かりします」

毎年、内定者の親に対して「お子さまをお預かりします」と手紙を出す。そのような気持ちで社員を育成している。

●経験を積む機会を提供

社員がキャリアアップできるよう他の部署との流動性を高めたり、3か所ある各店への異動もしていきたい。若くて気持ちが柔らかいうちに、いろいろなことを試す機会を提供したい。

●再就職者歓迎

再就職で来る人は世間を知っているし、職場がどういうものかよく分かっているからきちんとやってくれる。

●社員の意見を聞いて問題解決

社員とのコミュニケーションを図るために、担当社員が各店を回りながら、問題がありそうな点を聞いているので、離職率が減った。人間関係、とくに、若い社員は先輩との関係で悩むことが多い。

<女性従業員への対応>

●育児や介護に合わせた働き方を提供

今、育児休業中の社員はいない。過去のケースでは、いったんパートに切り替えて、子どもが成長してから正社員に戻った。今後、介護でも出てくるだろう。その時は、それにあうよう勤務時間や給料を変えていく。本人も社員に申し訳ないという気持ちがなないようにしてあげないといけない。

中小企業調査報告書
～9社の事例より～

発行 2019年3月29日

日本女子大学現代女性キャリア研究所
〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1

日本女子大学現代女性キャリア研究所

Tel: 03-5981-3380

Fax: 03-5981-3381